

1 保育理念

豊かな可能性を内に秘めた子ども一人一人に、思いやりの心を育て、これからの社会をたくましく生き抜く基礎を培う。

2 保育方針

一生に一度のこの時期を日の出保育園で過ごせて良かったと語り継がれる保育園でありたい。そのため、「安心」と「安定」をキーワードに、最善の保育環境を整え、子どもにとって、家庭と同じように心の居場所となるようきめ細かな経営の充実に努めた。

○ “安心”とは、保護者にとってあずけて安心、子どもにとって安らぎの気持ちで安心できる保育園であること

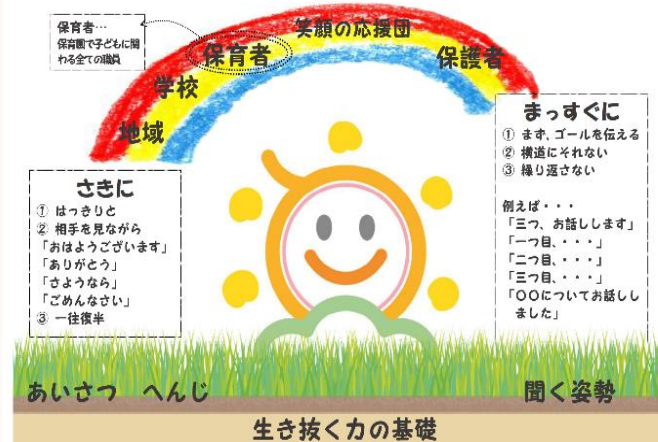
○ “安定”とは、保育者の視線が、子どもに注かれ、常に、質の高い保育サービスを提供できる保育園であること

3 めざす姿 … 三つの姿とめあて 保育者の姿勢…

『笑顔いっぱい、元気いっぱい、友だちいっぱい』

保育園 子ども	笑顔 いっぱい	元気 いっぱい	友だち いっぱい	保育者
自分の考えを話せる子	話をしっかり聞こう	元気なあいさつと返事をしよう	気持ちをはっきり伝えよう	一往復半の仕掛け
友達と仲よく遊べる子	工夫して遊ぼう	体を使って遊ぼう	みんなと遊ぼう	遊びづくりの黒子
最後までやり遂げる子	できることをいっぱい増やそう	自分でやってみよう	みんなで作ってみよう	ほめの達人

日の出スタンダードのイメージ…いつでも、どこでも、だれもが同じ関わり



推進事項 【保 育】

【全体的な計画】

- (1) 月案・週案を生かし、**多様で変化のある学び**の機会と場
- (2) **「全体的な計画」**の見直し、振り返り
- (3) **各種計画**の見直し、振り返り

【育ちの姿】

- (1) **「日の出スタンダード**(例：挨拶、返事、聞く姿勢など)の取組
- (2) 個人記録の蓄積と、育ちの具体的な振り返り
- (3) 「なかよし保育」と、外部講師を活用した**「本物に触れる」**特色ある保育園づくり

【基本的生活習慣】

- (1) **子ども自ら**が取り組むことを基本に、辛抱強く**「待ち」**の姿勢で支援
- (2) **一人一人の育ち**に応じた食事、睡眠、排泄、清潔、衣服の着脱などの繰返し指導
- (3) 配慮を要する子どもへの保護者と連携した**共通した支援体制**。

【個性の伸長】

- (1) 子どもの主体的な工夫による**「遊び」**の質への支援
- (2) できたことを**認め**、自他を認める素地の育成
- (3) チーム保育による子どもの**多面的支援**

【専門性】

- (1) キャリヤパスなど、園外研修への参加
- (2) **事例研究**など園内研修の工夫
- (3) **自己目標**に基づく、自己研鑽と日常実践

推進事項 【組織・運営】

【保護者支援】

- (1) 声かけ、便り、ボード、連絡帳など、**情報共有に基づく信頼関係**づくり
- (2) **保護者の声**に耳を傾け園運営の改善に生かす
- (3) 親身で迅速、職員間の**「報告・連絡・相談」**による組織としての対応

【連携・共生】

- (1) 小学校への円滑な接続のための取組の**具体化**
- (2) 情報発信の工夫、地域の多様な人材活用など、地域との連携・共生
- (3) 専門機関等との**緊密な連携**

【自己評価】

- (1) 園運営全般への**自己評価**と運営改善
- (2) **満足度**の高い保育園を実現する改善点の公表
- (3) 計画(plan)－実施(do)－評価(check)－改善(action)と、**スピード感**ある創意工夫

【危機管理】

- (1) 一人一人の**「ヒヤリハット」**の報告と共有
- (2) 子どもの**命を最優先**する園内研修
- (3) 社会福祉法人としての**関係法令を遵守**

【職場づくり】

- (1) **現場の声**の適切な把握
- (2) 新規採用者を生かす支援体制、相談体制
- (3) 子どもを最優先する**業務の整理と統合、効率化**

クラス経営（平成30年度クラス経営案から）

【さくらんぼ 0歳児】

- (1) 一人一人の生活リズムを大切に、保育士の温かい関わりの中で感情を表出できるように心の育ちを見守る。
- (2) 保育士との関わりの中で愛着関係を確かなものとし、信頼関係を育み、他者との関わりを広げようとする。

【もも 1歳児】

- (1) 保育士との積極的な会話、遊びなどの関わりを通して、安心できる環境の中で食事、排泄、着脱等、基本的生活習慣を身に付けていく。
- (2) 一人一人との関わりを大切に、気持ちを受け止め、情緒の安定を図り生活リズムを整えていく。

【いちご 2歳児】

- (1) 基本的生活習慣が身につく。
- (2) 自分の意思を言葉で伝えられるようになる。
- (3) 簡単な決まり事やルールが分かる。

【りんご 3歳児】

- (1) 食事の準備や排泄、身支度などの身の回りのことを自分で行うことができる。
- (2) 友だちとの関わりを持ち、自分の気持ちを言葉で伝えることができる。
- (3) 落ち着いて話を聞き、行動に移すことができる。

【れもん 4歳児】

- (1) 自信を持って行動できるようになる。
- (2) 話に注目し、聞く姿勢が身につく。

【ぶどう 5歳児】

- (1) 話している人の方に身体を向けて話を聞き、行動に移したり自分で考えたり考えようとする。
- (2) 基本的生活習慣や態度を身に付ける。